

さが県議会だより

令和6年 2月定例会 概要 (会期 2月22日～3月25日)

令和6年2月定例会県議会では、県政運営の基本方針をはじめ、県立大学の設置関連、九州新幹線西九州ルート関連、玄海原子力発電所関連、SAGA2024関連など県政全般にわたる幅広い議論が行われました。

令和6年度予算案については、「人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり」を基本理念に、本県の飛躍のため、時代に即した施策を時機を逃さず実施するための一般会計予算案など、17件の予算案が原案のとおり可決されました。

○令和6年度当初予算関係

- 令和6年度一般会計予算（総額約5,205億5,600万円、対前年比3.0%減）
- 災害救助基金特別会計予算、工業用水道事業会計予算 など計17件

○令和5年度補正予算関係

- 令和5年度一般会計補正予算（減額後総額約5,676億6,546万円、対前年比5.3%減）など計17件

令和6年2月定例会で条例などが次のとおり可決されました

■ 条例 (25件可決)

○佐賀県公立学校情報機器整備基金条例

【内容】 佐賀県又は市町が行う初等中等教育段階の公立学校における情報機器の整備に係る事業に要する資金を積み立てるため、基金を設置するもの。

他24件

■ 意見書 (1件可決)

○政治資金パーティー裏金問題の再発防止等を求める意見書

■ 決議 (1件可決)

○洋上風力発電事業誘致の早期実現に向けた取組を求める決議

その他の条例等は[こちら](#)→令和6年2月定例会
議案採決結果一覧表 (PDF)

令和6年 4月臨時会 概要 (会期 4月16日～4月18日)

令和6年4月臨時県議会では、副議長及び佐賀県競馬組合議会議員の選挙が行われたほか、各常任委員会、各特別委員会及び議会運営委員会の選任並びに正副委員長の互選が行われました。

このほか、「教育長の任命について」及び「監査委員の選任について」の議案が同意されました。

主な内容

- 令和6年2月定例会、4月臨時会の概要など 1
- 本会議質問 主な代表質問と15人の議員が行った主な一般質問と答弁要旨 2～5
- 委員会の概要 各常任・特別委員会の主な審議事項など 6～7
- 委員会構成 8

「インターネット議会録画」
や「会議日程」、「会議録」など
がご覧いただけます。

佐賀県議会

検索



議案に対する議員の表決態度（賛否）は、県議会ホームページで公表しています。(佐賀県議会 → 議案等の審議結果 → 議案件名一覧)



本会議質問

各議員が行った質問の中から一部を紹介いたします。

質問議員 ※質問順

代表質問

3月1日(金)

- 古賀 陽二(自由民主党)
- 藤崎 輝樹(県民ネットワーク)

一般質問

3月5日(火)

- 藤木卓一郎(自由民主党)
- 徳光 清孝(県民ネットワーク)
- 木村 雄一(公明党)
- 野田 勝人(県民ネットワーク)
- 池田 正恭(自由民主党)

3月6日(水)

- 宮原 真一(自由民主党)
- 西久保弘克(自由民主党)
- 猪村利恵子(自由民主党)
- 八谷 克幸(自由民主党)
- 酒井 幸盛(県民ネットワーク)

3月7日(木)

- 定松 一生(自由民主党)
- 石丸 太郎(自由民主党)
- 中村 圭一(自由民主党)
- 富田 幸樹(自由民主党)
- 原田 寿雄(自由民主党)



各議員の質問一覧は「佐賀県議会映像配信」でご確認ください。

「SAGA2024」国スポ・全障スポ

SAGA 2024
国スポ・全障スポ
新しい大会へ。
すべての人に、スポーツのチカラを。

「SAGA2024」開催への 知事の思いについて



この秋、佐賀県で開催される「SAGA2024」国スポ・

全障スポは、「国民体育大会」から名称が「国民スポーツ大会」へと変わる節目の大会であり、県は、これまでになかった様々な新しい取組みにチャレンジすると聞いています。

今回の大会は後催県のモデルになるという意味でも重要なものといえるが、「SAGA2024」の開催において知事の思いを伺いたい。



「SAGA2024」は、「体育」から「スポーツ」に変わる初

めての大会である。佐賀から前例のない大会をつくるために、様々な新しい取組みにチャレンジしたいと考えている。成功ばかりではないかもしれないが、市町や競技団体をはじめ、様々な関係者と意見交換をしながらタッグを組んで感動を分かち合えるよう準備を

進めたい。そして、スポーツの楽しみ方の一つ、ワールドワイドのスポーツへの端緒とすべく、運営に様々な工夫を行いながら取り組んでいきたいと考える。

この佐賀から始まるチャレンジの数々について、後催県の方々には、我々佐賀県のうまくいったところ、いかなかったところの両面を参考にしていただき、その積み重ねが未来の我が国のスポーツ文化の発展に資することを願っている。バトンをつないでいきたい。



SAGA2024イメージソング「Batons ~キミの夢が叶う時~」タイトルのように未来にバトンをつなぐ大会に

来訪される方々への 情報発信について



大会期間中は、選手以外にも応援など、多くの方々から佐賀に訪れることから、競技会場まで円滑に着いていただくための情報発信が必要であると思うが、どのように取り組んでいるのか。



九州佐賀国際空港やJR佐賀駅に、各市町では競技会場の近くの主要な駅などに競技会の情報や観光情報などの発信を行う案内所を設置し、競技会場までの交通アクセスなどの問合せに対応することとしている。



SAGA2024公式ホームページでは、会場までの経路検索も可能に

また、「SAGA2024」の公式ホームページに各競技会場の地図を掲載し、スマートフォンなどで経路検索ができるようにする予定である。

全障スポ選手の練習環境について

問 全障スポに挑戦する選手の練習は、健常者にはない苦労があるため、練習環境の正確な把握と対応が必要だと考えているが、今後どのように取り組んでいくのか。

答 県では、チームやクラブに対し、施設利用料や競技用具購入費、大会参加費といった補助を行い、自発的な活動を支援している。また、個人で練習をされる場合にも、佐賀県パラスポーツ協会を通じて、競技用具の設置や搬入、競技の指導といったサポートを行っている。

「SAGA2024」では、ご自身の持つ力を最大限に発揮していただけるよう、地の利を生かし、本番会場での練習回数を増やしたいと考えている。大会準備が本格化し、本番会場での施設利用が一部制限される中でも練習の機会を確保できるよう、県が各施設や大会運営側と調整しながら、様々な練習計画を立てているところである。さらに、これまで利用されてきた施設以外でも、各選手のペースで継続して練習ができるよう、佐賀県パラスポーツ協会と連携し、選手の状態、希望を丁寧聞きながら、一緒に新たな練習場所を探すことも行っている。



「SAGA2024」出場を目指す選手の練習会の様子
(佐賀市：SAGAスタジアム)

選手団の移動の円滑化について

問 全国から来訪される選手団、特に全国障害者スポーツ大会の選手団の方々に円滑に移動し

ていただくためには、航空会社や鉄道事業者、空港や駅の施設管理者などの連携が重要と考えるが、どのように取り組んでいるのか。

答 全国障害者スポーツ大会は会期が3日間と短く、選手団の来県日が集中することから、駅や空港での円滑な乗り降りのため、航空会社、空港管理者、JR等との連携が非常に重要である。このため、県では令和2年度に県内の主要駅や空港における公共交通機関の輸送能力、駅構内や空港内における動線、エレベーターやバリアフリートイレの数、場所などの現状調査を実施し、選手団の受入れに係る課題を整理した。



駅での車椅子誘導

また、令和4年度及び今年度は県外の選手団に対して、佐賀にお越しになるにあたり、想定している交通手段や人数等の来県の情報を調査し、その結果を踏まえ、各地から佐賀県までの移動口、移動手段、移動人数等を整理した。こうして把握した情報を公共交通機関等とも共有するとともに、本年2月からは駅や空港の関係者とともに現場確認を行い、選手団の施設内での誘導や乗降補助、車椅子利用者の動線確保などの対策をしっかりと行っていく。



国スポ 2024 10/5(土) ▶ 10/15(火) 全障スポ 2024 10/26(土) ▶ 10/28(月)
会期前実施競技 9/5(木)・9/17(火) 9/21(土)・10/1(火)



政策・総務



災害対策について



問 令和元年度佐賀豪雨や令和3年度豪雨災害、そして昨年7月に発生した線状降水帯による災害など多数の豪雨災害が県内で発生しており、水害対策に対する意識が非常に高まってきていると感じる。

また、水害だけでなく、県内では広い地域で最大震度7の揺れが想定される佐賀平野北縁断層帯が存在しており、いつ大地震が起きてもおかしくない状況にあることを認識する必要があると思う。

答 県は、大規模な災害が発生した場合に備え、どのように対処していくのか。



県で災害が発生した場合には、防災ヘリの活動などにより被災状況を迅速的確に把握し、その先に起こり得るリスクも想定して先手対応し、県民の命と安全を確保できるようにしていきたい。

災害は想定どおりには起こらないため、日頃から考えられる様々な事態を想定し、実動機関と連携して訓練を重ね、一人でも多くの命を救うという強い気持ちで災害対応力を底上げしたい。また、県民一人一人の防災意識を高めるために、自治会、自主防災組織、そして佐賀を拠点に広域的に活動している災害支援CSOとも連携した地域防災力の向上にも取り組んでいきたい。



救助訓練を行う
佐賀県消防防災ヘリ「かちどき」

情報発信プロジェクトの

在り方について



問 県では、企業やブランドとコラボレーションし、情報発信するプロジェクト「サガパライズ！」に取り組んでいる。

話題化させるために情報管理を徹底する進め方は理解できるものの、議会に対して事前の説明なく

1億円を超える広報費を使ったプロジェクトを実施していることは、大変な問題があると思っている。

答 情報発信プロジェクトに取り組むにあたり、今後どのような姿勢で議会と向き合うのか。



情報発信プロジェクトの予算は毎年度当初予算において提案し、議会の議決を経て実施をしているところである。今年度は3本のコラボを実施し、16億円を超える*広告換算額を獲得しており、10億円以上かけて広告を打ち続けたものと同じ効果を得たと考えている。

情報発信プロジェクトは、あらゆる情報があふれる中で選ばれ注目されていくことを目指しており、世の中に送り出す情報が、いかに驚きを持って発信、拡散され、話題化されることが生命線であると考えている。

県単独でコラボ情報を事前に発表することは、コラボ先の企業運営にも影響を及ぼし、県の信用も失われる可能性がある。また、情報自体もニュースとしての値打ちが下がり、メディアも取り上げづらくなる。

議会には必要に応じ、個別のコラボ事業の事業発表に合わせて情報共有を

しているところである。今後も話題の最大化を追求しながら情報管理に努め、効率的に、かつ戦略的に情報発信プロジェクトを行っていく。



*広告換算額

広報した量を測る指標。テレビや新聞にニュース等を取り上げられた広報量を、同じ枠広告として購入した場合の広告費に換算した額。

地域交流 産業労働



2024年問題への対策について



問 今年4月からバス・タクシーやトラック運送など自動車運転業務について働き方改革を推進する法律が適用され、時間外労働の上限規制などが適用されるが、現状のままであると、バス・タクシー業界は慢性的なドライバー不足に一層拍車がかかり、運行体制を維持できず、路線の縮小や廃止を余儀なくされ、県民の暮らしや県の将来に大きな影響が出

ると考えられる。
トラック業界においても、ドライバーの労働時間が短くなる影響で輸送力不足が懸念され、生活や経済に様々な影響を及ぼすおそれがある。
県は、このような※2024年問題にどのように対応していくのか。



運転手確保や運行効率化に取り組むバス・タクシー事業者への支援を行うこととしており、運転手の処遇改善を促すため、賃金を3%以上引き上げる事業者に対しては、この支援の補助率をかさ上げすることも考えている。

また、物流事業者、荷主、消費者に対する取組みをパッケージで実施する。まず、トラック運送、軽貨物運送、倉庫、荷主の事業者には物流の効率化や人材確保の取組みを支援し、あわせて、再配達の削減を目指して宅配事業者や商工団体と連携し、荷物の多様な受け取り方を広報するとともに、受け取り方の一つとして、宅配ボックス設置に対して支援を行うこととしている。
さらに、トラック運送業者を含めた価格転嫁を後押しし、賃上げに必要な原資を確保するためにも、県、国、経

済団体、労働団体とともに、価格転嫁の円滑化に係る連携協定を3月に締結することとしている。
物流の2024年問題は、県民生活や県内経済への影響が懸念されるが、すぐに解決できるといふ単純なものではないため、県トラック協会をはじめ、物流事業者、消費者や荷主、さらに、経済団体などと連携しながら、官民一体となって対応していく。



※2024年問題
2024年4月から、バス・タクシーやトラック運送などのドライバーに対して時間外労働の上限規制が適用されるため、人員の確保がさらに難しくなり、公共交通や物流に影響が出る。

佐賀県をもっと知るため 議会を傍聴しよう!

県議会の本会議や常任委員会、特別委員会は、どなたでも傍聴できます。

また、車椅子利用者、介助者各5名分用のスペース、AIによる字幕表示モニターもあります。

受付開始 午前9時頃 **受付場所** 議会棟1階

※車でお越しの方は、県庁来訪者駐車場をご利用ください。

傍聴中の託児もできます!

傍聴希望日の1週間前までに議会事務局までお申し込みください。

対象 生後6カ月～小学校就学前

問合せ 0952-25-7215



登壇者以外の様子や議場の雰囲気など、中継にはない臨場感で傍聴できます



インターネットでも本会議、各委員会の様子をリアルタイムで視聴できます。



各議員の質問一覧は「佐賀県議会映像配信」でご確認ください。

この他、県政全般について幅広い議論が行われました。

【主な質問項目】

- ・県立大学について
- ・世界海洋プラスチックセンター(仮称)について
- ・空き家対策の推進について
- ・SAGAキャッシュレスチャレンジについて
- ・多様な生徒の多様な学びの充実について

など



総務常任委員会

付託議案21件が原案可決されました。

【主な付託議案】

- ・一般会計（当初・補正）予算関係分

【主な質疑事項】

- ・県立大学設置の政策目的と意思決定のスケジュールについて
- ・米軍ヘリが佐賀空港を低空飛行した事案等への対応について
- ・情報発信プロジェクトの成果と目的について
- ・能登半島地震を踏まえた地震対策の見直しについて など

【質疑の様子】



文教厚生常任委員会

付託議案18件が原案可決されました。

【主な付託議案】

- ・一般会計（当初・補正）予算関係分
- ・育英資金特別会計（当初・補正）予算

【主な質疑事項】

- ・有明海の再生について
- ・本物大県“さが”事業費について
- ・人工透析患者の通院支援について
- ・「SAGA BLUE PROJECT」事業について など

【現地視察の様子】



社会医療法人 祐愛会
介護老人保健施設ケアコートゆうあい
(介護の先進機器導入状況について)

農林水産商工常任委員会

付託議案19件が原案可決されました。

【主な付託議案】

- ・一般会計（当初・補正）予算関係分
- ・職業能力開発促進法施行条例の一部改正

【主な質疑事項等】

- ・環境変化に対応したノリ養殖の安定生産の取組みについて
- ・SAGAキャッシュレスチャレンジ事業について
- ・中核人財となる大卒人財の確保について
- ・茶の販売促進と販路拡大について など

【現地視察の様子】



佐賀牛いろはファーム
(佐賀牛の安定生産の取組みについて)

地域交流・県土整備常任委員会

付託議案10件が原案可決されました。

【主な付託議案】

- ・一般会計（当初・補正）予算関係分
- ・県立都市公園条例の一部改正

【主な質疑事項】

- ・佐賀空港に関する諸問題について
- ・吉野ヶ里歴史公園の新たな取組みについて
- ・国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会について
- ・江藤新平復権事業について など

【現地視察の様子】



名護屋城跡・陣跡 周遊サイン
(周遊サインの整備状況について)

高等教育機関問題対策等
特別委員会

県立大学検討に係る専門家チームリーダーの山口和範氏を参考人として招致し質疑を行い、その後執行部に対する質疑を行いました。

【主な質疑事項】

- ・卒業生を県内就職につなげる方法について
- ・大学メインキャンパスに必要な要素について
- ・県民の理解促進と教員確保の考え方について
- ・佐賀への思いや誇りを持つ学生確保の重要性について
- ・学生生活を支える学校施設の考え方について
- ・県内他大学との共存や具体的な連携の仕組みについて など

【質疑の様子】



佐賀空港・有明海問題対策等
特別委員会

現地視察を行い、その後九州防衛局長の江原康雄氏を参考人として招致し、質疑を行いました。

【主な質疑事項】

- ・オスプレイの国防における役割について
- ・駐屯地の整備状況と今後の工程の見込みについて
- ・掘削土の再利用の状況と問題認識について
- ・別事業で発生した土砂運搬車の運行に係る説明会開催要請への見解について など

【現地視察の様子】



九州佐賀国際空港展望デッキ
(駐屯地整備に係る工事の状況について)

新幹線問題対策等
特別委員会

付議事件について質疑を行いました。

【主な質疑事項】

- ・鉄道局と佐賀県との「幅広い協議」について
- ・西九州新幹線開業で得られた効果について
- ・在来線の利用促進・利便性向上について など

【質疑の様子】



佐賀県議会会議録

平成11年以降の
会議録を検索できます



インターネット中継

本会議(委員会)の様子を
リアルタイムで視聴できます
(開会中のみ)



録画放送

インターネット中継の日から
4営業日後を目途に
公開しています(土日祝除く)

令和2年2月
以降の映像を
公開しています!





委員会構成

◆議長：大場 芳博 副議長：西久保 弘克

◆常任委員会

委員会名 (定数)	委員長	副委員長	委員 (年齢順)
総務常任委員会 (10人)	中村 圭一	桃崎 祐介	土井 敏行、原田 寿雄、徳光 清孝、中本 正一、西久保 弘克、藤木 卓一郎、江口 善紀、一ノ瀬 裕子
文教厚生常任委員会 (9人)	富田 幸樹	石丸 太郎	石井 秀夫、武藤 明美、大場 芳博、定松 一生、古賀 和浩、宮原 真一、下田 寛
農林水産商工常任委員会 (9人)	古川 裕紀	野田 勝人	留守 茂幸、八谷 克幸、石倉 秀郷、酒井 幸盛、岡口 重文、田中 秀和、古賀 陽三
地域交流・県土整備常任委員会 (9人)	青木 一功	猪村 利恵子	木原 奉文、池田 正恭、弘川 貴紀、指山 清範、坂口 祐樹、藤崎 輝樹、木村 雄一

◆議会運営委員会 (定数11人)

委員長	副委員長	委員 (年齢順)
坂口 祐樹	中村 圭一	土井 敏行、池田 正恭、定松 一生、指山 清範、藤木 卓一郎、江口 善紀、宮原 真一、古賀 陽三、下田 寛

◆特別委員会

委員会名 (定数)	委員長	副委員長	委員 (年齢順)
佐賀空港・有明海問題対策等特別委員会 (11人)	石井 秀夫	古賀 陽三	武藤 明美、石倉 秀郷、岡口 重文、池田 正恭、野田 勝人、弘川 貴紀、田中 秀和、江口 善紀、坂口 祐樹
新幹線問題対策等特別委員会 (12人)	木原 奉文	指山 清範	留守 茂幸、徳光 清孝、定松 一生、中本 正一、中村 圭一、宮原 真一、藤崎 輝樹、古川 裕紀、青木 一功、石丸 太郎
高等教育機関問題対策等特別委員会 (12人)	藤木 卓一郎	桃崎 祐介	八谷 克幸、酒井 幸盛、土井 敏行、原田 寿雄、富田 幸樹、猪村 利恵子、古賀 和浩、一ノ瀬 裕子、木村 雄一、下田 寛

◆監査委員 (定数1人) 宮原 真一 (令和6年4月18日選任)

◆競馬組合議会議員 (定数3人) 留守 茂幸、徳光 清孝(ともに令和5年5月11日選出)、指山 清範(令和6年4月18日選出)

佐賀県議会事務局政務調査課
TEL 0952-25-7306 FAX 0952-25-7279
E-mail gikai@pref.saga.lg.jp
ホームページ https://www.pref.saga.lg.jp/gikai/

お読みになった
ご感想やご意見を
お寄せください

NOTE

佐賀大学の学生の皆さんとの意見交換会を開催しました

佐賀県議会では、県民の皆さんに対して開かれた県議会を目指し、令和6年2月に「さかの未来」をテーマとして、佐賀大学の学生（7名）と県議会議員（10名）との意見交換会を開催しました。

学生の皆さんからは、「大学生が考える佐賀県立大学」、「若者が集まるまちなかへ」と題した発表があり、その後質疑応答や意見交換を行いました。

学生の視点による意見を聞くことができる貴重な機会となりました。









意見交換会の
詳細はこちら

「さが県議会だより」
の次号は、9月1日発行です。

UD FONT
風やまい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。